

高西地区 から こんにちは
今月の 気になる人



大野見地区より

農業 楽しんでます！

安藤 博文さん(67)

徳島県で育った安藤さん。池田高校卒業後、大阪で就職し40年勤められていました。出張で月1回訪れていた高知の魅力に惹かれ、四万十町担い手センターで農業を学び、大野見へ移住。8年程たった今、合計15アールのオクラやピーマンなどを栽培しています。大好きな自然に囲まれ、農業を楽しんでおられます。思い通りにならないことも多いですが、「それが農業の魅力！今後ものんびり楽しく野菜を作りたい！」と夢を語ってくれました。

安藤さんの野菜は、みどり市にも出荷していますので、ぜひご賞味ください！



四万十地区より

推しメニューは「担々麺」

田辺 浩士さん(33)

「食堂ヒラグシ」3代目店主の田辺さんは小さい頃から料理に興味があり、祖母が切り盛りしていた食堂を手伝う中でこのお店を継ぐことを決めたそうです。お客さんから大人気のラーメンのスープは、祖母直伝の鶏ガラとジャコで出汁をとった醤油ベース。知り合いの農家さんからニラを仕入れるなど、地元食材を活かしたメニューも開発しています。

これからも「食堂ヒラグシ」の味を守り、おいしいラーメンを作り続けてください。



橋原地区より

また来てね〜♪

玉川 アンクくん(8)
飼い主さん：玉川 義照さん

橋原町上本村で農業を営む玉川さん宅を訪問すると、いつも喜んでお出迎えしてくれるアンク君！畑やハウスで作業を行う玉川義照さんをいつも傍から見守っています。とても人懐っこい性格でたくさんの来客を喜んでお出迎えしています。これからも玉川さんを見守りながら、たくさんのお客さんにかわいがってもらってね！

興津地区より



子育ても農業も頑張ります！

竹添 惇さん(37)
敬子さん(36)

とても元気で仲良しの竹添さんご夫婦です。惇さんは21歳より農業を始め、中学校時代の同級生であった敬子さんと結婚。3人のお子さんに恵まれ、毎日の子育てと農業に目まぐるしい日々を送られているそうです。

現在は惇さんご両親と4人で30アールのミョウガを栽培しています。健康を第一に、家族が仲良く3人の子供の成長を楽しみに頑張っていきたいとのこと。笑顔の絶えないご夫婦2人、これからも応援しています！

橋原地区より



この地域で頑張ります！

塚原 壮太さん(32)
こなつさん(29)

橋原町川西路の塚原さん夫妻。新型コロナウイルスの流行により在宅勤務を経験したことがきっかけで、「田舎の暮らし」に興味を持ち昨年8月に大阪から橋原町へ移住してきました。現在は動画クリエイターを職業としており、YouTubeへの動画掲載も行っています。「自分たちが田舎へ移住し日々の暮らしの中で感じることや都会では味わえない体験を、YouTubeを通して都会の人たちに伝えたい」という想いから動画の発信を始めたそうです。

最初は「都会から突然やってきた人がユーチューバーをしている」という事に対して、地域の人々から快く受け入れてもらえるのかという不安もありましたが、「動画みたよ〜」と声をかけてくれる方や、田舎料理を題材にした動画の配信後にはご近所の方々から「こうやって食べるのも美味しいよ！」と料理の仕方を教えてもらうなど、地域の方々にとっても温かく接していただき感謝の気持ちでいっぱいだそうです。今後も橋原町また高知県で暮らす日々の中で体験し、感じた想いをたくさんの人々へ発信していきます。



つかはら夫婦
都会っ子2人の
地方移住Vlog

QRコード

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



おいしいニラになりますように

1 四万十地域 特産のニラ元気に育ってます！ ニラアドバイザー巡回実施

J A高知県四万十ニラ部会は、5月から6月にかけてニラ営農アドバイザーによる全戸巡回を行いました。ニラ部会は現在72名の部会員で構成されています。

四万十町はハウス栽培を中心とした県内有数のニラ産地であり、部会では栽培技術の向上や高品質化を目指し、篤農家と職員と普及所が年に2回圃場を回り生産者と意見交換をしています。今回より3名の新アドバイザーとして松井陽典さん、山田良二さん、中野佳二さんも加わり合計7名で取り組んでいます。

訪問時は面談率も高く、ニラの作柄や世間話まで話題は尽きず、コロナウィルスの影響で情報交換の場が少なくなっている中、貴重な機会となりました。アドバイザーの皆様、今後もしっかりお願いいたします。

アドバイザ巡回については、年間2回の取り組みを継続していく予定です。四万十町のニラは夏にかけても順次出荷されていきます。ぜひご賞味ください！



生育を確認する生産者ら

2 津野山地域 栽培技術を高め合う！

5月31日、津野山ナス部会の米ナス生産者らは現地検討会を開催しました。津野山地域では今年12戸、1.7ヘクタールで米ナス栽培がおこなわれています。定植時期から生育初期にかけて夜間・早朝の冷え込みや急激な夏日、また例年よりはるかに速い梅雨入りなどの影響から、平年よりも出荷の始まりが少し遅れています。ですが、徹底した栽培管理を行い「まずは株作り」を意識してこれからの収穫量に期待を寄せます。

生産者らは現地圃場を視察しながら、肥培管理や誘引方法など意見交換を行い、互いの技術を高め合っています。参加した生産者からは「みんなで見ると違う目線での意見が聞けてとても勉強になる」と非常に熱心で前向きな声が聞けました。

今年も前年同様に新型コロナウイルス感染防止のため部会活動を制限せざるを得ませんが、感染対策をしっかり行った上で必要な範囲内の活動を一つ一つ大切に取り組み、部会の活気を向上させたいと考えています。

3 四万十地域 『エコ栽培米生産部会 現地検討会』を開催



苗の生育を確認しました。

5月17日、特別栽培米の生産部会であるエコ栽培米生産部会は、部会員の育苗床を巡回する現地検討会を開催しました。あいにくの雨天でしたが多くの参加者があり、生育状況と病害の有無についての確認やこれからの田植えに向けて積極的な意見交換が行われました。部会の取り組みでは、育苗時の薬剤処理はしませんが、苗立枯病の発生もなく全体的に順調な苗の仕上がりとなっていました。

10月の収穫に向け、特別栽培米の基準を守って大切に管理していきます。

4 津野山地域 新緑の茶畑ウォーキング！



景色の良い場所で一休み♪

5月9日、津野山地域では船戸活性化委員会が主催する津野町茶畑ウォーキングが開催されました。国の重要文化的景観に選定された桂地区の美しい茶畑を約8キロにわたり散策する企画や、茶摘み体験、新茶釜炒り体験などを通じてこの地域の素晴らしい魅力を感じました。

今回はコロナ禍での開催ということもあり、高知県内在住の方のみを対象に参加を集約40名が参加しました。新茶が芽生える季節ということで新緑の美しい茶畑と澄み渡る空を感じながら楽しくウォーキングしていただくことができました。その後の茶摘みや釜炒り茶体験なども好評でとても充実したイベントとなりました。

5 四万十地域 農薬散布用ドローン 利用者連絡会



説明をする森本指導員

4月15日、四万十支所にて、農薬散布用ドローン利用者連絡会が開かれ、ドローンを導入した集落営農組織の代表と関係機関が参加しました。当会ではドローン飛行にあたってのルールや実証試験の計画等について県と普及所から説明があり、ドローンの活用に向け、参加者との意見交換が行われ、安全飛行の再確認がされました。稲の生長とともに農薬散布用ドローンが圃場の上を安全に飛行する未来が間近に迫っています。

6 津野山地域 栲原学園1・2年生 野菜植付け体験



おおきくな～れ！

5月25日、栲原地域の栲原学園では1・2年生による野菜の植え付け体験が行われ、サツマイモやトマト、ピーマンなどの野菜を植付けました。津野山営農経済センターから3人が講師として参加し、植え方のコツや育て方を伝えました。

例年より早い梅雨入りの影響もあり、体験予定日が1週間以上延期での開催となりましたが、ようやくの天気となり児童も楽しく植え付けを行うことができました。今年も畑も増え、昨年までは植えたことなかった「オクラやパプリカ」などにもチャレンジ！これからの成長と収穫までが楽しみです。一生懸命お世話をしてたくさん収穫してください。

四万十地域より

土壌分析のススメ！

営農指導課では9～10月（主に施設栽培対象）、12～1月（主に露地栽培対象）の年2回土壌分析を実施しています。土壌分析は、土壌の健康状態を把握し施肥改善につながります。近年は前作の肥料分が残っている圃場も多く、処方箋にそって減肥することもでき、生産コストの低減につながります。

土壌持ち込みについては以下の点に注意し持ち込んでいただく必要がありますが、施肥改善にぜひ土壌分析をご利用ください。

※対象月の総外務にてご案内致しますので、申込用紙を用いて持ち込みしてください。

1. 分析項目

① pH(酸性土壌) ② EC(電気伝導度) ③ リン酸 ④ カリ ⑤ 石灰 ⑥ 苦土 ⑦ 腐食 ⑧ ケイ酸(水稻のみ)

2. 土の採り方及び注意点

元肥投入前の土壌採取

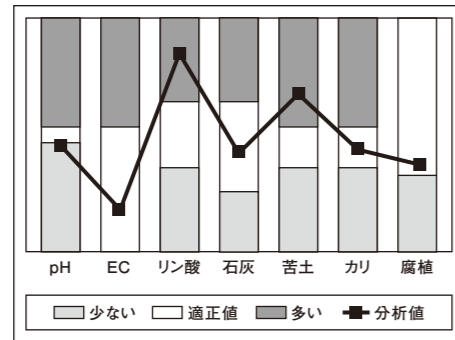
採取場所は圃場の真ん中1ヶ所と四隅(あまり端にならない)の4ヶ所を採取
計5カ所の土を一つにまとめて袋に入れる

※1点(1圃場)につき、5ヶ所くらいから均等に採り、ビニール袋に入れ良く混ぜてください。

令和3園芸年度 土壌分析結果と施肥設計 (作終了時)

JA高知県 営農指導部営農企画課 地区名：高西地区

支所名など	
分析年月日	
分析 NO.	
氏名	
圃場名	
面積	
土性	
加温・無加温	
前作物	
予定作物	
被覆	
灌水処理	
採土日	
採土時の状態	



* 診断結果の概要をお読みください！ *

土壌診断による施肥設計 施肥設計例

肥料名	成分			施肥量 kg	成分量		
	N	P	K		N	P	K
エコスマイル1号	14	5	6	300	42.0	15.0	18.0
リンスター 30		30		40		12.0	
合計							

10a当たり 土壌改良材施用量

土壌改良材	施用量 kg	袋数
パーク堆肥	3,000	
アヅミン苦土石灰		
リンスター 30	160	8
ヤッシカリ		
硫マグ		

診断結果の概要

pHについて	弱酸性土壌です。酸性改良のためにアヅミン苦土石灰160kgを施用してください。
チッソ施用量	土壌中のチッソ量が少ないことが推定されます。元肥のチッソ施用量は地区の基準量の通りとしてください。
リン酸	土壌中のリン酸がやや多くなっています。目に見えるリン酸の過剰害は現在のところ報告はありませんが、収量に影響するというデータもあります。元肥のリン酸の施用量を2/3程度に減肥してもよいと思います。また、追肥もリン酸の含有比率の少ない肥料(配合肥料や化学肥料)を使用した方がよいと思います。
苦土	土壌中の苦土はやや多い程度です。酸性土壌中和用のアヅミン苦土石灰以外、苦土肥料は施用しなくてもよいでしょう。
カリ	土壌中のカリは適正量です。カリの施用量は地区の基準量のとおりとしてください。
腐植	腐植は適正量ありますが、地力維持のために、堆肥や稲わらなどの有機物を、地区の基準量の通り施用してください。



津野山地域より

選果作業員 **急募**



JA高知県津野山営農経済センター
集出荷場で農産物選果作業員を
急募しています。

募集要領

1. 作業期間：12月末頃まで（農産物の受入れ期間）
2. 勤務時間：午前8時半～午後5時（出荷量により時間外勤務有）
3. 作業賃金：時給800円
4. 作業場所：津野町北川 JA高知県津野山営農経済センター
5. 作業内容：農産物選果荷造り作業（ミョウガ・土佐甘とう）
6. 募集定員：10名程度
7. 申込期限：令和3年7月末日

※雇用の際には雇用保険に加入していただきます。
※上記の件に関するお申込み及びお問い合わせはJA高知県津野山営農経済センター経済課までご連絡お願いいたします。

◎お問い合わせ先：津野山営農経済センター経済課（TEL.0889-62-3501）

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

蝶の来て葱の坊主のにぎやかな
矢車に潮風強きことを知る

武政 礼子

永らへて介護の齡草茂る
轉りや昼風呂に入る老の贅

市川 和美

ひなげしや命はぐくむかつら石
蛙鳴くせゝらぎの音と競ひ合ひ

今橋 孝子

山と山つなぐがごとし虹見上げ
梅雨最中トラクターの音ひびきあり

田中 信子

公園で遊びし児らに春の風
田舎より届く落むく昼下がり

竹内 春猪

旧友と話は尽きぬ夏の宵
太刀魚を焼きて一人の夏の膳

西宮 正衛

山腹の鳥に囀され茶摘かな
穂のまま散らぬ紫陽花水に映え

長谷部 延子

短歌

窪川短歌教室

二年ぶりに力いっぱいプレーする高校球児頼もしく見ゆ

中内 佐登美

前を行く車のナンバー孫の名に読めると気付く春の湾岸

黒岩 やよえ

衣食住足りて宇宙にいける世になぜ心のみ悪に走るや

岩井 房子

マスクする雪だるまいてほわほわとスノードームの中に雪降る

文野 見枝子

身の丈のなわばり守りて訪れるイタチ、あなぐま、猫ら賢し

市川 隆子

拍手にも力こもりぬ四万十川桜マラソンに雨降りやまず

北村 さちこ

昼すぎて空の青さの極まりぬ3・11 十年目のサンイチイチ

市川 浩子

コロナ禍でたまるエネルギーの発散が若者ひしめく大都会の街

島岡 紀美

【各支所連絡先】

四万十支所

0880-22-0003

梶原支所

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141

◆◆おたよりから◆◆

うちんくの台所もいつも楽しみに見てます。
女性部の皆さんの、アレンジレシピを参考にさせてもらい、子供が
苦手な野菜も食べられるようになったり、凄く助かっています。

(中土佐町・39歳・女性)

俳句

春待ちて古巢見回る燕二羽

(梶原町・松山 松美)

川開き競い合うのは釣り道具

(津野町・弘瀬 秀頼)

茄子色の私の車ツヤツヤと

(四万十町・野村 宏)

花冷えや仕舞いし衣重ね着る

(津野町・村田 三喜子)